

保護者のため集団検診化は

町 現物給付方式に変更

タンスでおり、集団検診は考えていない。

しかし、10月1日から現物給付方式に切り替える。

町長 不安をいたずらに助長させないため、集団検診は行なわない。

自主的に検診に行っていた

問 福島で、がんが見つかった子どもや親へのフォローが不十分であった

め、2/3が手術を受けた。

甲状腺がんの特性を考慮し、落ち着いた対応をする必要があるが、専門家を交えたフォロー体制ができて

いるか。

保健福祉課長 受診した先生から説明があるかと思うので、そういう体制で良い。

問 甲状腺検査のアンケート結果によると、実に9割の保護者が、子供の検査を望んでいる。原発事故後じつと不安を抱え、現在も依然として不安を持たれている。

保護者が、子どもを検査に連れて行かなくて済むように、集団検診としないか。

保健福祉課長 検査を受けたい方に受けていただく

財政健全化のための目標は

町 10月を目処に検討中

え、健全化をはかる。

問 財政改善を図るには、中長期的財政指標・収支予想を立て、その上で実際の年間予算の枠を決め、予算編成をする必要がある。

そのための財政指標の目標値を定めているのか。

企画財政課長 経常収支比率以外は定めていない。

それ以外の財政指標は、10月に配布予定の「行財政

改革プラン2015」の中で検討中である。

問 事務事業評価の内容が

- ① 事業改革につながらない
 - ② 毎年同じような内容
 - ③ 予算に活用できない
- と問題提起されている。事務事業評価をどう改善するのか。

企画財政課長 より実効性

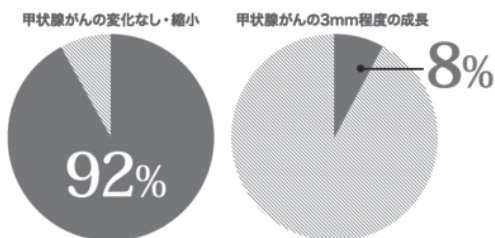
のあるものにしていく。

竹原 亜生



甲状腺がんは落ち着いた対応が必要です (那須高原病院山本先生)

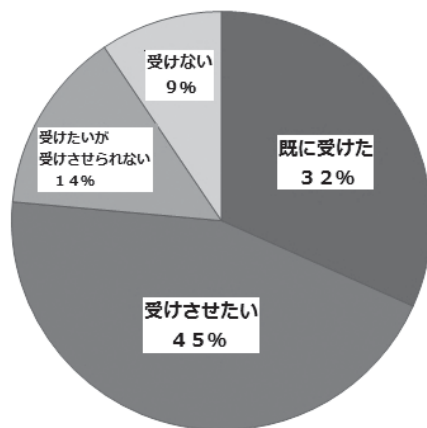
甲状腺がんの92%が変化しない⇒フォローが重要



手術した方も経過観察した方も甲状腺がんによる死亡はゼロでした (神戸市隈病院資料)

甲状腺がんは落ち着いた対応で

那須町甲状腺工コー検査アンケート結果 91%が検査を望んでいる



保護者の9割が検査を望む!